

かみさま たす 神様の助けがあれば

ほくはまだ子どもだけど、神様の助けがあれば、いろんなことができるんだ。
聖書には、こう書いてあるよ。「言葉にも、くらし方にも、愛にも、信仰にも、
純潔にも、信者の模範になりなさい。」¹

神様のために何ができるかなって考える時、大勢の子どもたちや若者が、
神様のためにすごいことをしてきたのを思い出すんだ。つまり、自分にも
できるってことだね！



¹ 口語訳聖書、テモテへの第一の手紙 4:12 参照

まわ ひと
ぼくは、周りの人たちに
あた
与えることができる。

イエス様の教えを聞きに行った少年が、集まって来た人々に食べ物をおけるのを手伝うために、自分のお弁当だった魚とパンをイエス様にあげた。イエス様がそのわずかな食べ物をお祝福すると、奇跡が起こった！お弁当だったパンと魚はどんどん増えて、5,000人以上もの人々が食べた後も、残りがあつたんだ。²



² ヨハネによる福音書の
第6章を読んでね。

わたしは、なにごとにも
いっしょうめい
一生けん命になれます。

ミリアムは、赤ちゃんの弟のモーセを見守るという、大切な役目を与えられていました。モーセに危害を加えようとしていた人々から守るため、かごに入れられて川に浮かべられていたのです。エジプトの王女がかごを引き上げると、ミリアムは、モーセを世話してくれる人をさがして来ましようかと、王女にたずねました。その結果、モーセの実際の母親が、王女のためにモーセを世話するお手伝いができたのです！³



3 出エジプト記の
第2章を読んでね。

かみさま ことば べんきょう
ぼくは、神様の **み言葉** を **勉強** する
ことができる。

テモテは、かみさま ことば ねつしん べんきょう わがもの
神様の **み言葉** から **多く** を **学**んだ テモテは、かみさま よ
愛を、周りの **ひと** たちにも **教**えたんだよ。4



4 テモテへの **第二**の手紙 **3:15**を **読**んでね。

^{かみさま}
ぼくは、神様のメッセージを伝えることができる。

^{かみさま} 神様は、ご自分のメッセージを ^{ひとひと} 人々に伝えるため、^{つた} エレミヤを
^め お召しになった。エレミヤは ^{さいしょ} 最初、^き 気が ^{ちい} 小さくて、^{かみさま} 神様に ^{あた} 与えられた
^{しごと} 仕事ができるとは思わなかったけれど、^{おも} 求められたことを ^{もと} 行動に
^{うつ} 移すと、^{ゆうき} 勇気で ^み 満たされたんだ。エレミヤはその後の
^{じんせい} 人生でずっと、^{かみさま} 神様のメッセージを
^{どうどう} 堂々と ^{つた} 伝え続けたんだよ。^ご 5



5 エレミヤ書 1:7-8を ^よ読んでね。

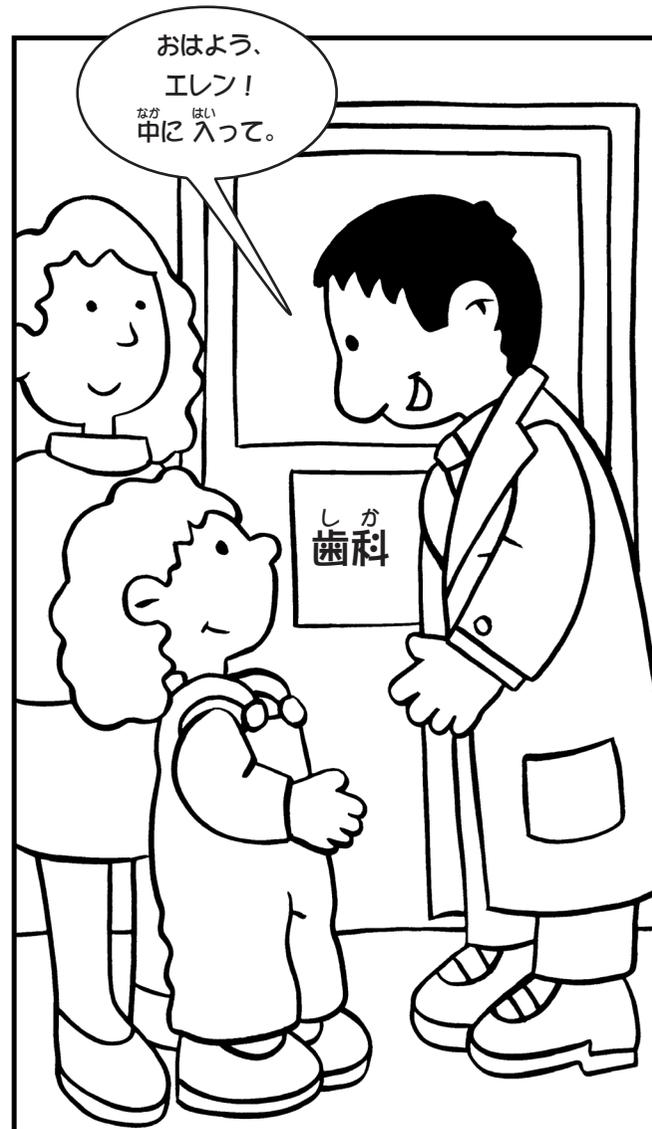
ぼくは、良い友だちになれる。

王子ヨナタンは、ダビテの**良い友だち**だった。**困難な**時も、ダビテの**良い**友だちで**つ**つ続け、ダビテを**危険**から**守**ったんだ。そして、ダビテが**民**からはなれて**悲**しんでいた時も、ダビテを**元**気つけた。ヨナタンはダビテを**信**じ、ダビテが**将来**なるであろうと**神**様が**言**われた**約**束を**信**じていたんだ。6



6 サムエル記上 18:1-4と 23:16-18を **よ**んでね。

わたしは、神様がわたしに望んでおられること、神様を愛し、神様の愛とやさしさを周りの人たちに伝えることができます。神様のみに頼り、勇がんになれます。
 自分の進むべき正しい道がわかり、正しいことを選び、喜んで神様の仕事をする人になれるように、神様のみに言葉を勉強することができます。



7 ヨハネによる福音書 6:11